

第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

日 時 令和4年10月12日(水)

第5校時 13:20～14:05

対 象 第6学年2組 28名

研究主題

自ら課題を見出し、課題解決に向けて「やり通すこと」のできる児童の育成
～「心のふるさとづくり」を軸にした、カリキュラムマネジメント～

1 単元名 「ふるさとプロジェクト～地域にできることに取り組もう～」(全35時間)

2 単元の目標

自分たちの住む地域のよさや課題、地域の人々の思いなどに触れ、それを基にした課題の解決に取り組むことを通して、進んでよりよい町づくりに参画しようとする気持ちを持ち、町づくりのためにできることを考え、活動することができる。

3 単元設定の理由

今まで児童は、自分たちの住む地域のよさについて多く学んできた。様々なよさがあることは理解できているが、日常で触れている町の魅力に気付くことができている様子ではない様子である。今まで学んだよさを踏まえた地域の良さや課題に気づき、身近な地域の課題を自分事として捉え、よりよい町づくりに参画していきたいという気持ちをもたせたい。また、地域の人々と多く関わりをもたせることで、地域の人々が支え合って暮らしていることを理解させていきたい。

今までの総合的な学習の時間では、テーマについて調べてまとめることを行ってきたが、意欲的な学習にはなっていなかった。児童が今後の見通しをもちながら、学習したことを生かして情報を収集・整理すると共に、探究的な学習のよさを理解できるようにしていく。また、明確な目的をもって、異なる意見や他者の考えを受け入れながら、友達と最後まで粘り強く取り組ませたい。

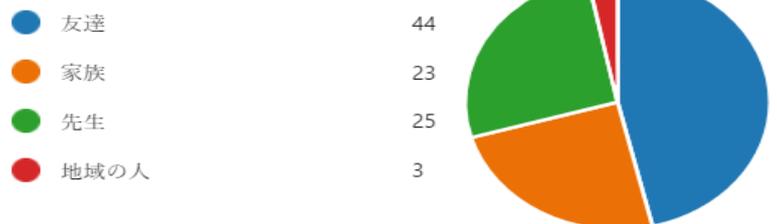
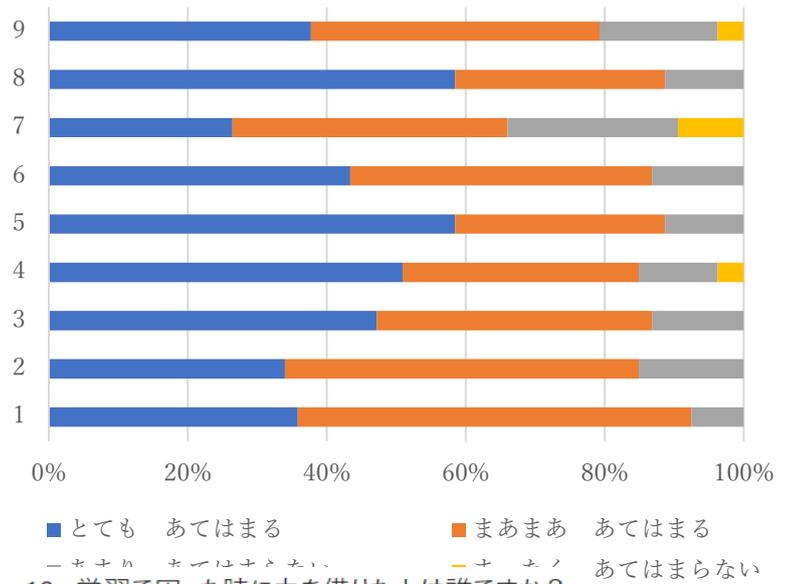
4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 自分の住む地域の良さに気づき、そこに住む人々が支え合って町を活性化する活動を行っていることを理解している。 ② 今後の見通しをもち、適切な方法を用いて情報を整理している。 ③ 自分の生活や地域についての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	① 自分の課題について見通しをもって、解決方法や手順を考えている。 ② 見学やインタビューなど、目的に応じた手段を工夫して情報を収集している。 ③ 考える為の技法を使い、必要な情報を取捨選択したり、比較・分類したりしながら、情報を整理・分析している。 ④ 自分の意見を明確にして、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ・表現したり、活動したりしている。	① 身近な地域の課題を自分事として捉え、自分にできることを考えて、積極的に取り組もうとしている。 ② 明確な目的をもって、友達と最後まで粘り強く取り組む。 ③ 異なる意見や他者の考えを受け入れ、その良さを生かそうとしている。 ④ 地域の取り組みと自分たちの暮らしの関わりに気づき、地域の人々との関わり大切さを今後の生活に生かそうとしている。

5 児童の実態

(1) 実態調査

9	いつもの勉強で、もっと調べてみたいと思ったことはありますか？
8	友達の発表を見たり聞いたりすることは好きですか？
7	自分の考えを分かりやすくまとめたり発表したりしていますか？
6	自分で集めた情報を整理したり、それをもとに考えたりしていますか？
5	友達と力を合わせて学習することは好きですか？
4	自分で調査をしたり、コンピュータや本などを使ったりして、情報を集めていますか？
3	自分の住んでいる地域のことを知っていますか？
2	自分で課題を決めて、解決に向けて取り組んでいますか？
1	総合的な学習の時間に積極的に取り組んでいますか？



(2) 考察

アンケート結果から、総合的な学習の時間の活動において、進んで調べたり、友達と協力して取り組んだりしていると感じている児童が多かった。また、5年生までに「心のふるさとづくり」で地域のことについて分かっていると実感している。しかし、最初から自分で計画を立てて最後までやり通したという達成感や、それを次に生かそうとする思いをもつまでは至っていないことが分かる。本時では、そういった実態から、今までの学習を生かして、「自分たちでつくりあげたという達成感」をもたせるとともに、様々な学習を活かそうとする気持ちをもたせていきたい。また、Q10での質問では、困ったときに力を借りる人として友達が多いが、教員や家族と答えた児童は半数。地域の人はいく名の回答であった。地域人材や地域資源をより活用することで、友達だけでなく幅広い人々との関わり方を学び、新しい発見をするとともに、「地域に愛着をもった児童」を育成することができると思う。

6 研究主題に迫るための手立て

本単元の学習を展開するにあたって、研究主題を以下のように捉えた。

「自ら課題を見出し」

→児童が「もっと知りたい・もっと良くしたい」と課題をもって取り組む

【知識・理解】

「課題解決に向けてやり通す」

→粘り強く最後まで活動に取り組んだり、試行錯誤したりし続けられる

【学びに向かう力・人間性】

「心のふるさとづくり」

→町のよさや課題に関心を持ち、進んで地域の人と関わり、自分の考えを表現できる

【思考力・判断力・表現力】

(1) 児童が課題をもって取り組むための手立て

児童は、今まで学習してきた地域のよさを振り返り、他の地域と比較したり、地域の人々にインタビューするなどの活動をしたりする活動を行い、地域の人々との触れ合いから自分事として捉えるようにさせる。また、「自分たちの町をよりよくしていきたい」というゴールイメージを振り返ることで、活動の意味をもたせるようにする。

主体的対話的で深い学びとの関連



見通しを持つ



振り返って次へつなげる

(2) 粘り強く最後まで活動に取り組んだり、試行錯誤したりし続けられるための手立て

児童一人一人が考えや思いをもち、友達や地域の人々の思いを受け入れながら活動できるような働きかけを行っていく。また、互いの考えを合わせながら、よりよい町づくりやそれに向けたよりよい活動を協力して行えるように促していく。自分たちの取り組みを振り返り、価値づけていくことで、達成感や満足感を得られるようにしていく。

主体的対話的で深い学びとの関連



共に考えを創り上げる



知識・技能を活用する



粘り強く取り組む

(3) 町のよさや課題に関心をもち、進んで地域の人と関わり、自分の考えを表現できるための手立て

友達や地域の人々との関わりを多く取り入れることで、自分とは違ったものの見方や考え方を知り、それを生かしてよりよい解決の仕方を見出させていく。また、皆で導き出した考えを、自分に合った形や行動に表していけるようにしていく。

主体的対話的で深い学びとの関連



協働して課題解決する



自分の考えを形成する



先哲の考え方を手掛かりとする

7 単元の指導計画（全35時間）

小単元名（時数）	○学習活動 ・支援、手立て ◆GT	知	思	態	他教科との関連
「わたしたちのふるさとについて考えよう」 (5)	○今までの学習で学んだ地域についてのいいところや課題を出し合う。 			①	【読書科】 他の地域を比較する。
	○他の地域と比較することを通して、他の地域の方が良いではなく、自分の地域のよさを再発見する。	②			
	○自分たちだけでなく、地域の人や保護者の感じているよさを知る。 ・地域の人々の思いを理解できるように、地域の人々と直接関わりをもたせる。 ◆町会副会長、商店街の方、保護者など 	①	②		【国語】 電話や手紙、インタビューなどのやり取りの仕方を知る。
	○自分たちと地域の人たちの地域に対する認識の相違を知る。		③		
	○地域のことを知り、学習課題・計画を立てる。 		①		

	<p>○小岩や他の地域で行われている取り組みを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分たちでできる活動であるか」を視点に調べられるように、小学生が地域で行った活動例などが載った本やサイトを示す。 	①	②	<p>【読書科】 地域の取り組みや工夫について調べる。</p>
<p>「ふるさとプロジェクト～企画編～」</p>	<p>○よりよくしていく為にどうしたらよいか、自分たちが行える活動を考え、出し合う。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちや、地域の人々の思いを踏まえた活動を考えられるようにする。 ・町で暮らす一員としての自覚を高め、地域の為に自分ができること、大切にしたいことを考えられるようにする。 		③	<p>【読書科】 自分たちの活動を整理・分析する。</p>
<p>(5) 【本時 3/5】</p>	<p>【本時】◎自分たちが行える活動を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>実現可能か</u> (自分たちでできるか)、<u>町をよりよくできるか</u> (魅力が伝わるか) の視点で活動の整理分析できるようにする。 		①	
	<p>○自分たちの行うプロジェクトを決める。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・各プロジェクトの企画書 (プロジェクト名、活動内容、活動計画、伝える相手等を話し合う。) 		③	
	<p>○各グループで企画した活動を共有し、実際に提案・行動できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの仕方などを学び、担任で連絡後に児童が電話や手紙で依頼する。 <p>◆区のまちづくり課、商店街の人、町会、京成小岩駅、シルバーさん など</p>		②	
<p>「ふるさとプロジェクト～行動編～」 (18)</p>	<p>【紹介する】小岩の町を広めるプロジェクト (新聞、本、ポスター、模造紙、レポート、図鑑、パンフレット、ニュース番組、パワーポイント 等)</p> <p>○調べたことをポスターなどにまとめ、商店街や京成小岩駅などに掲示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰に向けて伝えていくことで、より町を広めていくことになるのかを考えながら、活動できるようにする。 <p>【交流する】地域の人と仲良くなろうプロジェクト</p> <p>○地域の人々と交流する計画を立てて、実際に交流する。(直接 or オンライン)</p> <p>○交流してみてどうだったかを振り返り、1度きりで良いのかを考える。よりよい交流を検討する。</p> <p>【ボランティア活動】地域を綺麗にしようプロジェクト</p> <p>○地域のやっている活動などを知り、清掃活動などに参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続させることの大切さに気付かせる。 	① ② ③	① ② ③ ④	<p>【読書科】 発信の仕方 (ポスターの書き方など) を調べる。</p> <p>【図工】 北小岩の風景を絵に描き、地域への愛着をもつ。</p>

	<p>【商店街とコラボ】 商店街を盛り上げようプロジェクト ○商店街のお店と交渉して、商店街のお店と企画した活動を行う。(商品開発など)</p> <p>【イベント企画】 イベント企画プロジェクト ○町会などとイベントを企画する。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;">     </div> <ul style="list-style-type: none"> ・何のためにその活動をするのかをきちんと抑えて、ゴールイメージをもたせる。 ・児童自身がチームでどのように活動していくかを考えさせるようにしていく。 ・計画を立てて行動していく中で、振り返りをしながら、うまくいかないことを改善するように促す。 ・地域の活動を行っている人たちに協力をいてもらいながら、各チームにアドバイザーなどとして関わってもらう。 				
<p>「ふるさとプロジェクト～卒業編～」 (7)</p>	<p>○自分達の行なった活動の成果や課題を振り返る。 ・今後の生活で活かせること、卒業に向けた取り組みを考えるようにする。</p> <p>○学校内で自分たちにできる取り組みを行う。 ・在校生や教職員などへの感謝の気持ちを持ち、学校のためにできる活動を考えさせる。</p>	<p>② ③</p>	<p>① ② ③ ④</p>	<p>① ② ③ ④</p>	

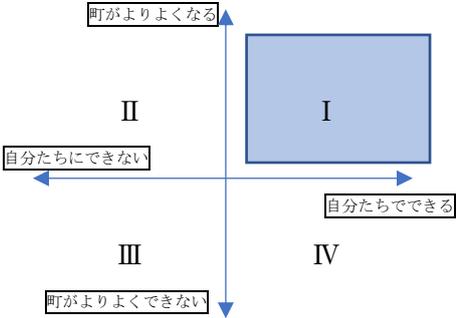
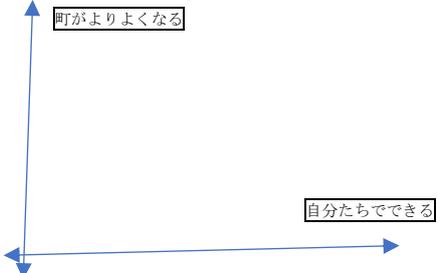
8 本時の学習（8時間目/全35時間）

（1）本時の目標

町で暮らす一員として活動する意欲を高め、地域の為に自分にできる活動を考えて、学習の見通しをもつことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

（2）本時の展開

学習内容	◇支援・手だて 【評価】
1 活動していく目的と、今日の学習活動を確認する。	◇今の活動の目的を振り返り、「町をよりよくしていきたい」という思いを高める。 ◇調べた様々な地域の活動や小岩の町の取り組みを振り返る。
2 自分たちにできる活動を出し合い、グループで検討する。 	◇自分たちにできる活動を考え、付箋に書き出しておく。 ◇少人数のグループで話し合う活動を取り入れることで、対話を促す。 ◇座標軸で付箋を操作しながら、2つの視点で話し合わせる。 ◇座標軸を活用し、 <u>自分たちでできるか（実現可能か）</u> 、 <u>町をよりよくできるか</u> の視点に基づいて、自分の考えた活動を比較できるようにする。 ◇どんな活動なのか、どうしてこの活動が良いと思ったかを説明しながら話し合いができるようにする。
3 全体で話し合いの内容を共有する。 	◇座標軸のI群にある活動を短冊に書く。 ◇全体で出た活動を見直せるよう、「それをする事でより良い町になっていくだろうか」という発問でゴールイメージを確認する。 ◇活動案が広がり過ぎないように、グループで出た活動を取り上げつつ、座標軸（二次元）を用いる。 ◇活動の意義や有効性など、子供たちの意見を書き込む。
4 本時の振り返りをしながら、自分の行いたい活動を選ぶ。	◇これから頑張りたい活動をふり返りカードに書かせ、意欲的に取り組もうとしている児童を称賛する。 ◆町で暮らす一員として活動する意欲を高め、地域の為に自分にできる活動を考えることで、学習の見通しをもつことができる。【振り返りカード】
5 次時の確認をする。	◇児童の振り返りをいくつか紹介し、次時への期待をもてるようにする。

（3）授業観察の視点

- ・グループ共有と全体共有の場で、思考ツール（座標軸）の活用は有効だったか。
- ・学習の見通しをもち、意欲的に活動に参加できているか。

9 これまでの読書科

昨年度	今年度
<p>(1) 知識及び技能</p> <p>ア 読書の仕方に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由読書（朝読書） ・読み聞かせ（地域の方による朝の読み聞かせ） ・ポップ、帯、ポスターづくり ・ビブリオバトル ・図書推薦会（国語と関連） <p>イ 情報の収集に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十進分類法による本の探し方 ・新聞の読み方（国語と関連） <p>ウ 記録の取り方に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報カードの書き方 <p>(2) 思考力、判断力、表現力等</p> <p>ア 問題の発見に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェビング図の使い方 <p>イ 問題の解決に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要約の仕方 ・本やインターネットでの調べ方 <p>ウ まとめ・表現に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考文献の書き方 ・パワーポイントでのまとめ、発表の仕方 	<p>(1) 知識及び技能</p> <p>ア 読書の仕方に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由読書（朝読書） ・読み聞かせ（地域の方による朝の読み聞かせ） <p>イ 情報の収集に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十進分類法による本の探し方 ・百科事典の使い方 <p>ウ 記録の取り方に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報カードの書き方 <p>(2) 思考力、判断力、表現力等</p> <p>ア 問題の発見に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールの使い方 <p>（太陽チャート、Xチャート、Yチャート、クラゲチャート、マトリックス表、バタフライチャート、ベン図、座標軸など）</p> <p>イ 問題の解決に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネットでの調べ方 <p>ウ まとめ・表現に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本やパンフレットのまとめ方（国語と関連） ・パネルディスカッションのやり方（国語と関連）

【成果と課題】

成果

- 思考ツールを活用することで、児童が考えを深めることができた。発言が少ない児童も、考えを視覚化することができ、グループでも共有できた。
- 「ふるさとプロジェクト～地域にできることに取り組もう～」を進める中で学習意欲の向上が見られた。他教科では自ら発言が見られない児童、意欲が感じられない児童も意欲的に発言する様子が見られた。
- 「心のふるさと学習」を通して、様々な地域の方や事象と出会い、新たな視点に気付いたり、考えを広げたりして学習を進められた。

課題

- 事前に子供たちの考えをしっかりと想定し、発問などを検討していくことが大切である。子供たちの主体性を高めたり、考えを深めたりするために、「どうしてそう考えたの?」「これはどういうこと?」と教師からの発問を行うことが大切である。
- 思いをもたせる際に、児童の語彙が少なく言語活動が活発にできなかった。他教科などを通して子供たちの言語活動を深めていくことが大切である。言葉のもつ意味などを様々な教科で育てていきたい。
- 話し合いや思考ツールの観点を明確にする必要がある。
- 思考ツールを活用する場合は、目的に合わせて使うことが大切である。思考ツールを使うことで、子供たちが①自分のこととして思考する②共有したときの気付き③俯瞰して見えること を考えると、より考えが深まる。